

# 校内の連携や協力を生み出すための 教育相談コーディネーターの試み

学籍番号 219110

氏名 島 あかね

主指導教員 教授 家近 早苗

副指導教員 教授 餅木 哲郎

## 1. 問題と目的

実習校は公立の高等学校であり、緊急性の高い問題はほとんど起きないものの、集団生活に馴染むことのできない生徒や不登校傾向など学業面以外の側面で問題を抱えた生徒も少数ではあるが在籍している。実習校の課題は、このような課題を抱えた生徒がいるにも関わらず、生徒の援助を学級担任等の一部の教師のみで行っていることであった。さらに、報告者が実習校に転勤した初年度は、前年度までの教育相談の中核だった教師が転任・退職してしまったため、実習校の実態を知らない教師がコーディネーターとなり、新体制で教育相談委員会を運営していかなければならなかった。そのため、教師が連携や協力をして生徒の援助を行っていく必要があった。そこで、本実践研究の目的を、校内の連携や協力を生み出すための教育相談コーディネーターの行動について検討することとした。

## 2. 実践研究の内容

### 【研究 I】 教育相談コーディネーターの実践

〔目的〕 (1) 実習校の教育相談に関する課題を明らかにするために、教育相談コーディネーターはどのような行動の工夫が必要なのか検討する。(2) 教育相談コーディネーターの行動を検討し、教師の連携と協力の促進を試みる。

〔方法〕 (1) 期間：2021年4月～2022年3月 (2) 対象：①報告者の活動記録

②報告者が教育相談コーディネーターとして関わった3つの事例

(3) 方法：①教育相談コーディネーターとしての活動記録を時系列に沿って整理する。②報告者がSCと連携した3つの事例から、教育相談コーディネーターの行動を抽出する。

〔結果・考察〕 (1) 教育相談委員会（フォーマルな場）は生徒の援助を検討する機関として機能していなかったため、報告者は廊下での立ち話や教育相談室の環境整備等のインフォーマルな時間を活用して、教師やSCとの信頼関係づくりを進めると同時に、生徒理解に関する情報収集を行った。(2) 3つの事例から、教育相談コーディネーターが教師との協力や連携の促進を試みる際、ベースとなるのは教師との信頼関係を作ることだと言える。教師との関係性を築く中で、教師のニーズを確かめ、提案や助言を行うことが重要である。次に必要となるのは、援助資源（キーパーソン）を見つけることである。校内の情報集約や情報発信等、コーディネーターが一人ですべての業務を担うには限界がある。円滑な情報収集や情報共有を行うためには、援助資源（キーパーソン）となる教師が必要だ。

## 【研究Ⅱ】 教育相談コーディネーター兼任の学級担任による実践

〔目的〕 (1) 学年の連携や協力を促進するために、新年度の準備段階での教育相談コーディネーターの役割を検討する。(2) 教師の協力と連携を促進するために、研修による教師の啓発を行う際の教育相談コーディネーターの行動について検討する。

〔方法〕 (1) 期間：2022年4月～2022年12月 (2) 対象：①報告者が関わった中学校訪問に関する実践記録、②報告者の教育相談コーディネーターとして関わった校内研修記録 (3) 方法：①報告者が教育相談コーディネーターとして中学校と連携した事例について記述し、教育相談コーディネーターの役割について整理する。②報告者が教育相談委員の教師と連携し、教師に教育相談について啓発する。

〔結果・考察〕 (1) 学年の連携や協力を促進するためには、新年度に向けた事前準備が大切である。事前の準備をきっかけとして、教師の互いの考えや思いを共有し、相互理解を図ることができると考えられる。(2) 研修による教師の啓発を行う際、教師との関係性が大切であることが示された。日頃から教師との意思疎通を通じて、つながりや関係性を大切にすることで、教師の物事の捉え方の重なる点や異なる点を整理できると考えられる。

### 3. 総合考察

本実践研究では、教師の連携や協力を促すためには、教育相談コーディネーターはどのような行動や役割を行う必要があるのかについて検討してきた。その結果、教育相談コーディネーターは、教師との信頼関係を作ることに重点を置き、そこから援助資源（キーパーソン）を見つけ、働きかけたり、援助要請をしたりすることで、生徒の援助を検討する環境づくり（ベース作り）を行うことが重要であることが示された。生徒の援助を検討していく際には、このようなベース作りを行いながら、日常的に生徒の観察を行っており、生徒との関わりが深い学級担任の考えや思いを尊重し、必要に応じて意図的に情報の流れを作ることによって、教師の連携や協力を促す可能性がある（図1）。

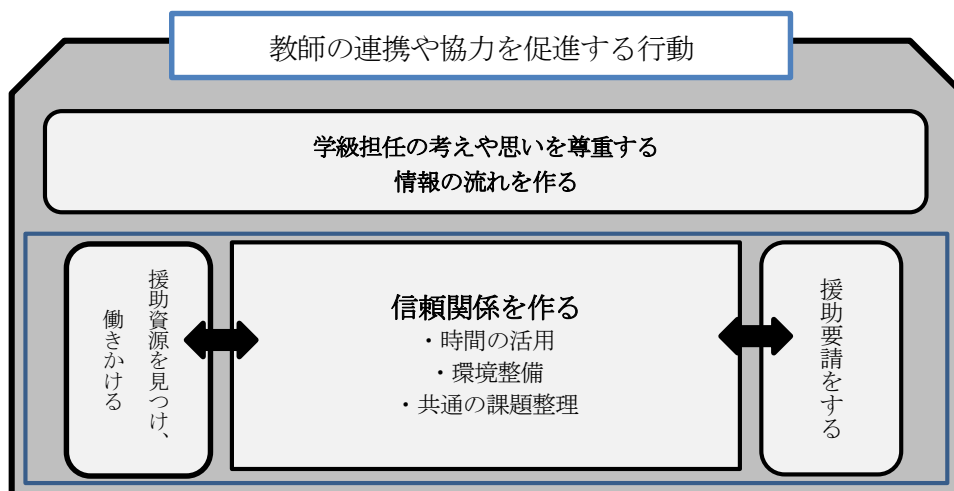


図1 教師の連携や協力を促進するための教育相談コーディネーターの行動